

## 「作新舎」、「有倫舎」

明治政府は明治5年、寺子屋の閉鎖を命じ新しく学制を公布したため、村々では公立の学校を自費で創設しなくてはならなかった。

明治8年、森村、田殿村、田黒村の三か村では共同で組合立小学校を立ち上げる。白髭神社の祠官中島家の別宅を学舎とし、名前を「作新舎」と名付けた。明治9年に森学校と名を変えたが、児童の増加のため明治12年に郷倉に移転するまで使われた。

川島村においても、川島八幡神社祠官中島氏別宅を学舎として出発した。名前は「有倫舎」と名付けられ、表札も大切にかかっている。

これらは、最初の学舎として使われた記念すべき建物である。

名称	地名	設立年	生徒	男	女	
作新舎	森村	明治8年	49	8	8	⇒ 森小学校
有倫舎	川島村	//	38	9	9	⇒ 川島小学校
養源舎	菅村	//	55	21	21	⇒ 菅小学校
進徳舎	受原村	明治7年				⇒ 受原学校⇒竹森小学校受原分校⇒ 竹森小学校

